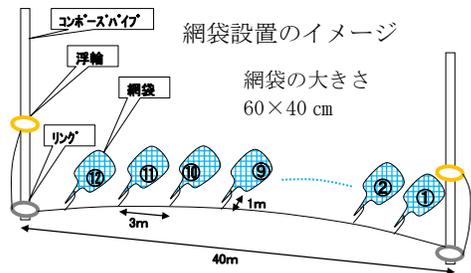


○3 節-2 貝類漁業対策(2)

1. 網袋を利用したアサリ生産技術開発の内容および経過報告

(1) 目的

三番瀬ではアサリの冬季減耗により生産量が減少する。網袋により冬季のアサリの保護育成効果などを評価することで、生産現場での利用方法を検討する。



(2) 技術開発の結果概要

身入りの良さを売りにする養殖技術になる可能性がある

課題	年度		
	26	27	28
育成技術	・技術開発の方向性 網袋>垂下式 ・網袋の構成選定 網質 ポリエチレン>ナイロン 目合 4mm=6mm 基質 軽石+砂利=砂利>軽石		・網袋の設置間隔 3m vs 1.5m
育成適地	・種苗収容密度 1.0=1.5>2.0kg/袋 ・管理の有無 無管理=管理有		
最適な生産手法の評価	・岸>中間>沖		・作業量や経費を試算

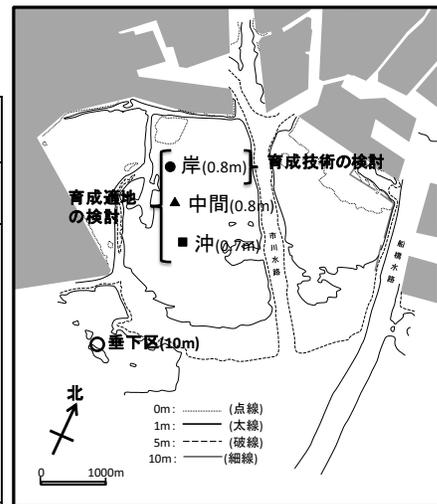


図1 試験区の位置

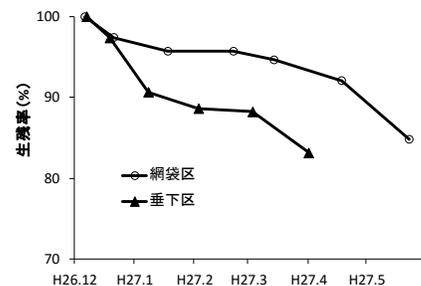


図2 生残率 (網袋区 vs 垂下区)

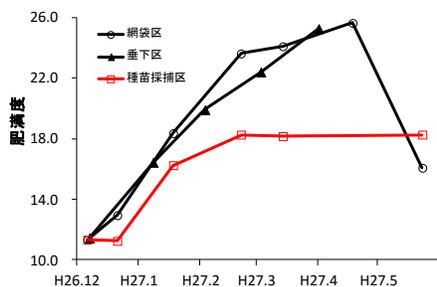


図3 肥満度 (網袋区 vs 垂下区)

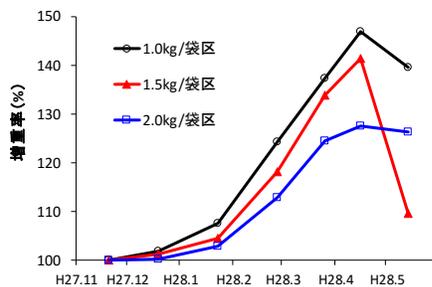


図4 増重率 (種苗収容密度)

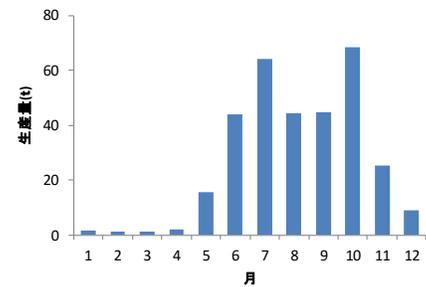


図5 三番瀬のアサリ月別平均生産量(過去10年平均)

(3) 今後

網袋を利用したアサリ生産技術の普及と養殖試験(販売試験)の取組の支援